平成25年度 本学人事異動

日本歯科大学新聞

東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼編集人　中原　泉
発行日　偶数月末日
定　価　１部１０円
編集室（〒951-8580）
新潟市中央区浜浦町1-8
☎025（267）1500

平成二十五年四月一日付

大学

歯学博士　小倉　英夫
歯学博士　住友　雅人
歯学博士　近藤　健示
名誉教授の称号を授与する

学校法人

主事補　宮島　靖志
人事部副部長に任命する（人事部）
書記補　北見　公一
書記を命ずる（経理部）

大学院

教授　八重垣　健
医学博士
生命歯学研究科長に任命する（生命歯学部衛生学講座）
略歴・昭和54年3月本学卒業（第68回卒）、58年3月久留米大学大学院医学研究科修了。62年4月本学新潟歯学部口腔衛生学教室講師、63年10月助教授。平成9年10月ブリティッシュコロンビア大学歯学部常勤臨床教授を経て、16年4月本学歯学部衛生学講座教授に就任。

教授　関本　恒夫
歯学博士
大学院新潟生命歯学研究科（小児口腔行動科学）の担当を命ずる（新潟生命歯学部小児歯科学講座）

生命歯学部

教授　羽村　章
歯学博士
高齢者歯科学に配置換を命ずる（附属病院総合診療科２）
生命歯学部長併任を命ずる
略歴・昭和54年3月本学卒業（第68回卒）、58年3月大学院歯学研究科修了。同年4月本学歯学部歯科補綴学教室第二講座助手、62年10月附属病院高齢者歯科診療科講師、平成7年4月助教授を経て、11年4月歯科補綴学教室第三講座、13年1月附属病院総合診療科２に配置換、15年4月教授に就任。20年4月附属病院長併任。

new 東京と新潟の新歯学部長

生命歯学部長
羽村　章

…日本歯科大学の強みのひとつに、臨床教育力がある。歯科医療者として必要な知識・技術・態度を育み、卒業後も、自己研鑽を続けることができる歯科医師養成のため尽力したい。（高齢者歯科学・68回卒）

新潟生命歯学部長
関本　恒夫

…これから超高齢化社会を迎えるにあたり、在宅歯科医療や口腔ケアの施行、医師や看護師・介護関係者等多職種とも連携して医療を行える、地域密着型の歯科医師育成を重視している。（小児歯科学講座・64回卒）

公告

学校法人日本歯科大学の評議員を次のとおり公告する。（任期：平成二十五年四月一日～平成二十六年七月三十日）

評議員　沼部　幸博
評議員　藤井　一維

学校法人日本歯科大学の理事を次のとおり公告する。（任期：平成二十五年四月一日～平成二十六年八月六日）

理事　沼部　幸博
理事　藤井　一維

辞令

歯学博士　安藤　進夫
名誉教授の称号を授与する
平成二十四年十二月一日

教授　古西　清司
薬学博士
共同利用研究センター所長併任を命ずる（微生物学講座）
略歴・昭和52年3月静岡薬科大学薬学部卒業、58年3月東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了。60年4月富山医科薬科大学医学部生化学講座助手。平成7年4月本学歯学部微生物学教室助教授を経て、14年11月教授に就任。

講師　筒井　健夫
博士（歯学）
准教授に任命する（薬理学講座）
略歴・平成11年3月本学卒業（第88回卒）、15年3月大学院歯学研究科修了。同年4月本学歯学部薬理学講座助手を経て、19年4月講師に就任。

教助　島津　貴咲
博士（歯学）
講師を命ずる（小児歯科学講座・第91回卒・大学院歯学研究科修了）

博士（歯学）　小川信太郎
助教として採用する（接着歯科学講座・第97回卒・大学院生命歯学研究科修了）

博士（歯学）　黒田　聡一
助教として採用する（歯科補綴学第２講座・第94回卒・大学院生命歯学研究科修了）

博士（歯学）　宮澤　敦子
助教として採用する（口腔外科学講座・第97回卒・大学院生命歯学研究科修了）

博士（歯学）　田中　秀明
助教として採用する（歯科麻酔学講座・第96回卒・大学院生命歯学研究科修了）

博士（歯学）　加藤　雄一
助教として採用する（小児歯科学講座・第95回卒・東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科修了）

主事補　太田　進
庶務部に配置換を命ずる（教務・学生部）
庶務部長に任命する

書記　髙橋　猛生
主事補に任命する（用度営繕部）
営繕課長に任命する

書記　生澤　伸幸
用度営繕部に配置換を命ずる（教務・学生部）

附属病院

教授　三代　冬彦
歯学博士
附属病院長併任を命ずる（歯科麻酔・全身管理科）
略歴・昭和58年3月本学卒業（第72回卒）、62年3月大学院歯学研究科修了。同年4月本学歯学部口腔外科学教室第二講座助手、平成元年4月講師、13年1月附属病院多目的診療科（14年6月「歯科麻酔・全身管理科」と名称変更）に配置換。14年4月助教授を経て、19年10月教授に就任。

准教授　内川　喜盛
歯学博士
教授に任命する（小児歯科）
第1副院長併任を命ずる
略歴・昭和60年3月本学卒業（第74回卒）、平成2年3月大学院歯学研究科修了。同年4月本学歯学部小児歯科学教室助手、13年1月講師を経て、15年4月助教授に就任。18年10月附属病院小児・矯正歯科、21年4月小児歯科に配置換。

准教授　小森　成
博士（歯学）
教授に任命する（矯正歯科）
略歴・昭和63年3月長崎大学歯学部卒業、平成4年3月同大学大学院歯学研究科修了。6年4月本学歯科矯正学教室助手、11年4月講師を経て、17年4月附属病院小児・矯正歯科に配置換、19年4月准教授に就任。21年4月矯正歯科に配置換。

准教授　田村　文誉
博士（歯学）
教授に任命する（口腔リハビリテーション科）
略歴・平成元年3月昭和大学歯学部卒業。16年4月本学歯学部附属病院総合診療科２講師を経て、19年4月准教授に就任。21年4月小児歯科、24年4月口腔リハビリテーション科に配置換。

准教授　渡邉　昌司
内科科長併任を命ずる（生命歯学部内科学講座）

准教授　荘司　洋文
病棟責任者併任を命ずる（口腔外科）

准教授　足立　雅利
口腔外科医長に任命する（口腔外科）

短大教授　髙橋　建作
附属病院総合診療科４併任を命ずる（東京短期大学歯科技工学科）

助教　酒井　康雄
博士（歯学）
講師を命ずる（口腔外科・第85回卒・大学院歯学研究科修了）

助教　吉田　和正
博士（歯学）
講師を命ずる（口腔外科・第86回卒業・大学院歯学研究科修了）

助教　内田　裕子
博士（歯学）
講師を命ずる（矯正歯科・第91回卒）

助教　高橋　賢晃
博士（歯学）
講師を命ずる（口腔リハビリテーション科・明海大学歯学部卒業・岡山大学大学院医歯薬学総合研究科修了）

講師　須田　牧夫
総合診療科１に配置換を命ずる（総合診療科２）

助教　國分　貴子
総合診療科１に配置換を命ずる（総合診療科４）

助教　濵田　康弘
総合診療科２に配置換を命ずる（総合診療科３）

学士（歯学）　北　大樹
助教として採用する（総合診療科１・第96回卒）

学士（歯学）　東郷　尚美
助教として採用する（総合診療科２）

学士（歯学）　石井　通勇
助教として採用する（総合診療科３）

博士（歯学）　中西　生美
助教として採用する（総合診療科３・第95回卒・大学院生命歯学研究科修了）

学士（歯学）　波多野宏美
助教として採用する（小児歯科・第97回卒）

学士（歯学）　大島　正充
助教として採用する（歯科麻酔・全身管理科・第93回卒）

博士（歯学）　塩谷　伊毅
助教として採用する（歯科麻酔・全身管理科・第95回卒・大学院生命歯学研究科修了）

学生向けタイムズを創刊

日本歯科大学校友会では、四月に学生向きの情報誌「KOYU TIMES」を創刊した。同タイムズは、A４判四ページで、在学生を対象として東京と新潟両キャンパスの模様、卒業生のトピックスなどを紹介している。学生が校友会を身近に感じるように、双方向の交流をめざしている。

日本歯科大学校友会
KOYU Times　2013 April　no.1

発行　日本歯科大学校友会　〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20　TEL:03-3261-8971　FAX:03-3264-8745　http://www.koyo-ndu.gr.jp/

Heat your heart　富士見祭

平成24年11月3日(土)富士見祭開会式に校友会より、藤井重興副会長(62回)、石黒茂雄常務理事(67回)・加賀山文雄常務理事(74回)の3名が出席した。今年のテーマは～Heat your heart～。盛り空の少し肌寒い"風のガーデン"も学生達の熱いheartで盛り上がっていた。

藤井校友会副会長より前田祐貴学生会会長(4年)へお祝金が渡された。

校友会から一言「校友の　歴史の重さ　手渡して　頼む"後輩　母校の未来」

そして学生さんからの返言「伝統を　守ってゆきます　我々も　富士見・浜通　熱志心で」

校友会・学生会　特別講義（衛洲生命歯学部）

テーマ
ひとつながりの医療
～病院歯科の取扱説明書～
平成24年11月30日(金)特別講義
●講師：
聖隷浜松病院
リハビリテーション科歯科
門田千里先生(90回)

特別講演を終えた門田先生(前列右から３人目)
校友会の役員・後輩の先生と共に

外は冷たい雨のアイグイホールに、病院実習を終えた5年生達が集まってきた。日々実習に励んでいる後輩達を前にして、浜松より遥々やってきた門田先生が熱く講演された。

病院歯科とは、口腔ケア、摂食・嚥下リハビリテーション、専門的歯科治療について歯科医師が病院で行うことを指す。術前後の口腔ケア や摂食・嚥下リハビリを行うことで入院期間の短縮につながるなど、病院の中で歯科医師の行う役割はとても大きい。さらに歯科は、これから医科と連携を深め"ひとつながりになる"ことで、多くの患者さんを救うことができる。

「ひとつながりの医療は今まさに実現しつつある。医療の現場で歯科の知識と技術は驚くほど役立つ。歯科業界の未来は決して暗くはない！」

KOYU Times 創刊に寄せて

近藤勝洪　会長(54回)

学生諸君、こんにちは。諸君は卒業後、どのような進路を選ばれるのでしょう。母校日本歯科大学との絆を失うことはありません。

日本歯科大学校友会(会員数15万名)は、歯科医師として全国各地で活躍している卒業生によって組織され、47都道府県で活動しております。楽しい時も苦しい時も校友会は会員を支え、母校とともにあります。

わが国最古の歴史を持ち、伝統と創造に満ちた我が母校は、歴史の荒波に揉まれても揺らぐことなく、現在も歯科医学教育・研究・診療の最先端を走っています。そして日本歯科大学校友会は、歯学会とともに母校を支え、寄り添いながら母校の良りない発展を任っています。

今回、創刊する"KOYU Times"は、在校生の皆さんに日本歯科大学校友会を知っていただくとともに、母校と会員を結ぶ話題や情報を提供するものです。読んで楽しい、仲間との話題によるような小冊子を目指して、今後、季刊として発行していきたいと考えています。

学生諸君の意見も聞きたいと思います。要望を寄せていただいても結構です。日本歯科大学新聞や校友会歯学会会報とは異なる新しい分野への挑戦です。校友会の取り組みや考え、また、教科にあたっては、大学の支援もいただいたことに感謝し、挨拶とさせいたします。

（一面からつづく）

短大講師　斉藤　勝紀
短大助教　赤間　亮一
短大助教　岩田　健悟

歯科技工室に配置換を命ずる（東京短期大学歯科技工学科）

医療職員（歯科技工士）を命ずる（歯科技工室）

主事補　鈴木　洋一

病院事務部に配置換を命ずる（生命歯学部庶務部）

病院事務部長に任命する

新潟生命歯学部

教授　歯学博士　関本　恒夫

小児歯科学講座に配置換を命ずる（新潟病院小児歯科）

新潟生命歯学部長併任を命ずる

略歴・昭和50年3月本学卒業（第64回卒）。同年6月歯学部小児歯科学教室助手、60年10月講師、平成8年9月新潟歯学部小児歯科学教室に配置換、同年10月助教授を経て、13年4月附属病院小児・矯正歯科に配置換、14年4月教授に就任、15年4月附属病院小児歯科に配置換、附属病院長併任。

講師　博士（歯学）　水橋　史

准教授に任命する（歯科補綴学第一講座）

略歴・平成12年3月本学卒業（第89回卒）、16年3月大学院新潟歯学研究科修了。同年4月歯科補綴学教室第三講座助手を経て、18年4月講師に就任。21年4月歯科補綴学第一講座に配置換。

教授　博士（歯学）　小松﨑　明

学生部長併任を命ずる（衛生学講座）

略歴・昭和63年3月本学卒業（第77回卒）、平成5年3月大学院新潟歯学研究科修了。同年4月新潟歯学部口腔衛生学教室助手、8年4月講師、16年4月助教授を経て、21年4月学生部副部長併任、24年4月教授に就任。

准教授　二宮　一智

学生部副部長併任を命ずる（新潟病院総合診療科）

講師　小野　裕明

学生部副部長併任を命ずる（物理学）

教授　歯学博士　宮川　行男

歯科理工学講座に配置換を命ずる（先端研究センター（生体材料学））

准教授　歯学博士　仲村健二郎

薬理学講座併任を命ずる（先端研究センターRI施設））

助教　小野　幸絵

衛生学講座に配置換を命ずる（新潟病院総合診療科）

博士（歯学）　竹澤康二郎

助教として採用する（解剖学第一講座・第96回卒・大学院新潟生命歯学研究科修了）

博士（歯学）　川上未有希

助教として採用する（先端研究センター・第97回卒・大学院新潟生命歯学研究科修了）

口腔外科学講座併任を命ずる

書記補　坪内　久宗

先端研究センター（RI施設）に配置換を命ずる（用度営繕部）

図書館併任を命ずる

書記補　山岸　礼子

用度営繕部に配置換を命ずる（庶務部）

新潟病院

教授　歯学博士　山口　晃

新潟病院長併任を命ずる

東京病院長　三代冬彦
新潟病院長　山口　晃
東京研究科長　八重垣　健
新潟学生部長　小松﨑　明
東京共同利用研究センター所長　古西　清司

（口腔外科）

略歴・昭和55年3月本学卒業（第69回卒）。同年6月新潟歯学部口腔外科学教室第一講座助手、61年4月講師、平成7年4月助教授を経て、平成15年4月附属病院口腔外科に配置換、教授に就任。

教授　歯学博士　黒川　裕臣

副院長併任を命ずる（総合診療科）

講師　博士（歯学）　阿部　祐三

准教授に任命する（総合診療科）

略歴・平成9年3月本学卒業（第86回卒）、13年3月大学院新潟歯学研究科修了。同年4月附属病院総合診療科3助手を経て15年4月講師に就任。

准教授　佐藤　友則

臨床研修プログラム責任者併任を命ずる（総合診療科）

助教　博士（歯学）　若木　卓

講師を命ずる（総合診療科・第81回卒）

臨床研修副プログラム責任者併任を命ずる

助教　博士（歯学）　關　秀明

講師を命ずる（総合診療科・第84回卒）

助教　博士（歯学）　中村　俊美

講師を命ずる（総合診療科・第92回卒）

臨床研修副プログラム責任者併任を命ずる

講師　猪子　芳美

総合診療科に配置換を命ずる（新潟生命歯学部歯科補綴学第2講座）

講師　石井　瑞樹

総合診療科に配置換を命ずる（新潟生命歯学部衛生学講座）

病院情報処理室併任を命ずる

助教　金井　綾子

総合診療科に配置換を命ずる（歯科麻酔・全身管理科）

歯科麻酔・全身管理科併任を命ずる

博士（歯学）　佐藤　英明

助教として採用する（口腔外科・第86回卒）

学士（歯学）　野田　直人

助教として採用する（口腔外科・第92回卒）

医療職員　池田　裕子（歯科衛生士）

歯科衛生科歯科衛生士長を命ずる（歯科衛生科）

東京短期大学

准教授　歯学博士　髙橋　建作

東京短期大学歯科技工学科に配置換を命ずる（附属病院総合診療科4）

教授に任命する（歯科技工学科）

歯科技工学科長に任命する

略歴・昭和50年本学卒業（第64回卒）、54年3月大学院歯学研究科修了。同年4月本学歯学部歯科保存学教室第二講座助手、56年4月講師、59年10月附属病院予防歯科に配置換、平成9年4月助教授に就任。13年1月附属病院小児・矯正歯科、同年5月総合診療科1、18年4月総合診療科4に配置換。

助教　学士（経済学）　富田　淳

講師を命ずる（歯科技工学科・附属歯科専門学校歯科技工士科卒・同歯科技工士専攻科修了）

助教　学士（家政学）　池田亜紀子

講師を命ずる（歯科衛生学科・附属歯科専門学校歯科衛生士科卒）

学士（口腔保健学）　浦野　瑶子

助教として採用する（歯科衛生学科・東京短期大学歯科衛生学科卒・専攻科歯科衛生学専攻修了）

新潟短期大学

准教授　伊藤　鉄栄

教授に任命する（歯科衛生学科）

略歴・昭和53年6月ヘルシンキ大学法文学部卒業。62年4月新潟短期大学歯科衛生学科助教授に就任。

医療職員（歯科衛生士）　三富　純子

新潟短期大学歯科衛生学科に配置換を命ずる（新潟病院歯科衛生科）

准教授に任命する（歯科衛生学科）

略歴・昭和55年3月歯友会歯科技術専門学校卒業。同年4月本学新潟歯学部附属病院歯科衛生科補手、60年4月附属新潟専門学校助手、62年4月新潟短期大学助手を経て、平成元年4月附属病院歯科衛生科に配置換、歯科衛生科歯科衛生士長に就任。

学士（人間環境学）　煤賀　美緒

助手として採用する（歯科衛生学科・新潟短期大学歯科衛生学科卒・専攻科修了・淑徳大学卒）

准教授　佐藤　義英
講師　小野　裕明
助教　小林　一広

歯科衛生学科講師併任を命ずる（新潟生命歯学部）

講師　三瓶　素子

歯科衛生学科講師併任を命ずる（新潟病院）

ヒト歯髄から肝細胞を作製

東京衛生　英医学誌の優秀論文に選ばれる

本学生命歯学部衛生学講座の Nikolay Ishikitiev 博士，八重垣健教授らの論文がイギリスの医学雑誌“Journal of Breath Research”のベスト・ペーパーに選ばれた。論文題名は“Hydrogen sulfide increases hepatic differentiation in tooth-pulp stem cells”。口臭の主成分である硫化水素を用い，ヒト歯髄から肝細胞を再生できることを論述した（本誌 604 号既報）。同論文は，12 月末まで下記で閲覧できる。

http://iopscience.iop.org/1752-7163/6/1/017103/

同論文の掲載誌

平成26年度AO入学試験・推薦入学試験・編入学前期入学試験（平成25年実施）

試験区分	AO入学試験	推薦入学試験		編入学前期入学試験	
学部	新潟生命歯学部		生命歯学部（東京）	新潟生命歯学部	生命歯学部（東京）
募集人員	約 15 名	約10名（指定校制・公募制）	約40名（指定校制・公募制）	若干名	若干名
出願期間	郵送・窓口とも：25年8月19日(月)～8月29日(木)	郵送・窓口とも： 25年10月23日(水)～10月31日(木)	郵送：25年11月5日(火)～11月13日(水) 窓口：25年11月12日(火)・11月13日(水)	郵送・窓口とも： 25年10月23日(水)～10月31日(木)必着	郵送・窓口とも： 25年10月21日(月)～10月29日(火)必着
出願場所・試験場	日本歯科大学新潟生命歯学部 〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1－8 ☎025－267－1500		日本歯科大学生命歯学部(東京) 〒102-8159 東京都千代田区富士見1－9－20 ☎03－3261－8311	日本歯科大学新潟生命歯学部 〒951-8580新潟県新潟市中央区浜浦町1－8 ☎025－267－1500	日本歯科大学生命歯学部(東京) 〒102-8159 東京都千代田区富士見1－9－20 ☎03－3261－8311
試験科目等	出願資格（オープンキャンパス参加が必須、昨年度参加可） ・目標を定めその実現のために積極的に行動することのできる，目標意識と意欲のある者 ・医療人にふさわしい高い倫理観や適性を持った者 ・合格した場合に入学を確約できる者 ・その他，高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者等・・・ 選抜方法 1）高等学校調査書 2）面接試験（グループ・個人） 3）実技評価 4）資格取得状況，文化・芸術・スポーツの分野やボランティア活動なども評価	出願資格（公募制） 1）平成25年3月卒業者並びに平成26年3月卒業見込みの者で人物・健康ともに優れ学業成績が良好で学校長が推薦する者 2）合格した場合に入学を確約できる者 選抜方法 1）高等学校調査書 2）英語小テスト 3）面接試験	出願資格（指定校制・公募制） 本学の基本理念と教育目標を達成するために、十分な学力と高い目的意識を持ち、相手の気持ちを理解できる人間性豊かな者で、次の条件を満たすこと。 1）平成26年3月卒業見込みの者で，人物・健康ともに優れ学校長が推薦する者 2）合格した場合に入学を確約できる者 選抜方法 1）高等学校調査書 2）英語小テスト 3）面接試験	出願資格 1）大学卒業者、または平成26年3月卒業見込みの者 2）大学に2年以上在学して、64単位以上取得した者 3）短期大学または高等専門学校の既卒者 選抜方法 1）出身大学、在学大学、出身短期大学または出身高等専門学校の成績証明書 2）英語小テスト 3）小論文 4）面接試験	
試験日	平成25年9月1日(日)	英語小テスト，面接試験とも 平成25年11月2日(土)	英語小テスト，面接試験とも 平成25年11月17日(日)	平成25年11月2日(土)	平成25年11月1日(金)
合格発表	平成25年9月3日(火)に本人に合否通知を速達郵便で発送する。	平成25年11月5日(火)に本人と高等学校長宛に合否通知を速達郵便で発送する。	平成25年11月19日(火)に本人と高等学校長宛に合否通知を速達郵便で発送する。	平成25年11月5日(火)に本人に合否通知を速達郵便で発送する。	平成25年11月5日(火)に本人に合否通知を速達郵便で発送する。
手続期限	平成25年9月13日(金)	平成25年11月15日(金)	平成25年11月28日(木)	平成25年11月12日(火)	平成25年11月15日(金)